



サステナビリティ 雫石の自然とともに

岩手山を望むグランドセイコースタジオのエントランスではユリノキの大樹が新緑から紅葉、冬木と姿を変え訪問者を出迎えます。ウォッチメーカーに最適な場を求めてこの地に根を下ろし50年あまり、スタジオのある盛岡セイコー工業は、その全敷地の約3割が緑地であり、1000本近い自然林を有する環境を持ち常に季節のうつろいとともにあります。

雫石の美しい自然とものづくりの心を重ね、共生のための様々な取り組みを行っています。

■持続可能なものづくりの追求

スタジオで生み出される機械式時計は、ぜんまいが解ける際に生まれる自然の力をエネルギー源とし、世代を超えて受け継がれていく、サステナビリティを象徴するプロダクトともいえます。その思想は、全施設を通しての持続可能なものづくりの推進に結びついています。

- Reduce (発生抑制)、Reuse (再利用)、Recycle (再生利用) に努め、資源循環への貢献と廃棄物の削減を実現しています。
- 生産で使用した水は社内で排水処理を行い、環境負荷を抑制するとともに一部は再利用し資源の効率利用に努めています。
- 地球温暖化に対する取り組みとしてエネルギーの使用量をCO₂排出量で管理、目標値を設定し継続的な削減活動を実施しています。
- 自社開発の無線センサーネットワークシステム「ミスター省エネ」を製造施設内に設置し、温湿度・照度・電流を監視し、ものづくり環境の整備と省エネを同時に推進しています。

■地域環境との共生

生物多様性保全の取り組み

- 敷地内の樹林地帯の自然林すべてを台帳登録し、維持管理を行っています。
- 外来生物の分布状況、繁殖状況を調査、監視し、適正に管理しています。
- 敷地内に鳥やリスなどの巣箱を設置し、定期清掃を行いながら生息の様子を観察しています。

■人と自然、そして地域とのコミュニケーション

- 従業員とその家族が参加する緑地の整備活動、敷地内緑地ツアー、子供たちとインセクトホテル*や巣箱づくりなど自然と触れ合うイベントを定期的に開催しています。
- 地域住民、行政の方々を対象に環境報告会を開催し、工場見学や環境保全の取り組み紹介のほか、生物多様性やSDGsなどの環境教育も行っています。

※インセクトホテル＝虫ホテル：草木など自然の素材を利用して作られた多種多様な虫を呼び集め植生の多様性を高めるための装置

■認証・受賞

- 2015年一般社団法人 いきもの共生事業推進協議会（略称ABINC）が運営する、生物多様性に配慮した緑地づくりに取り組む施設を評価・認証する「いきもの共生事業所®認証（通称：ABINC認証）制度」で工場版の認証としては第一号となる認証を取得しました。（2018年に認証更新済）
- 2019年公益財団法人 都市緑化機構主催の「第39回 緑の都市賞」において、「都市緑化機構 会長賞」を受賞しました。生物多様性に配慮し緑地の質を高める改善や、適正な維持管理などの取り組みが評価されました。